# 平成30年度活動報告書

熊本県博物館ネットワークセンター

当センターは、平成27年4月の設置から、今年で5年目を迎えましたが、その間、県内の博物館や資料館の連携を軸として、「いつでも・どこでも・だれでも」博物館活動に親しんでもらえるよう、共同企画展の開催、収蔵資料の情報共有化を図るための「熊本県博物館資料データベース」の運用・公開等のほか、企画展・移動展の開催、講座やフィールドミュージアムの実施、ミュージアム・パートナーズ・クラブへの支援など、県民の方々が熊本の歴史や自然を体感できる取り組みを進めてきました。

昨年度末には、平成 31 年度(令和元年度)から令和 5 年度まで、当センターの 5 か年間の活動目標を示した中期計画を新たに策定しました。この計画を指針とし、引き続き博物館活動に取り組んでまいります。

また、今年6月末に、熊本県博物館連絡協議会の加盟館の皆様から、会長としての御推薦をいただきました。今後は、当協議会の事務局としても県内博物館の連携強化に努めてまいりたいと考えております。

これからも、県内博物館の活性化と、県民の皆様が誰でも博物館活動に参加できる環境づくりに取り 組んでまいりたいと考えておりますので、御支援、御協力をいただきますようお願い申し上げます。

> 令和元年9月27日 熊本県博物館ネットワークセンター 所長 松井 浩

# 目 次

1 展	示活動	
(1)	企画展示 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	1
(2)	移動展示 · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	10
(3)	県市連携展示「熊本のいきものたち」	12
(4)	熊本県博物館ネットワークセンター阿蘇展示室	13
2 情	報発信活動	
(1)	熊本県総合博物館ネットワーク・ポータルサイト	14
(2)	出版物	14
3 研	修活動	
(1)	総合プロデューサー育成研修・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	15
(2)	スキルアップ研修・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	15
(3)	教員のための博物館の日	16
4 学	習支援活動	
(1)	フィールドミュージアムへ飛びだそう!	18
(2)	熊本を知る講座	20
(3)	くまもとキッズミュージアムin益城	22
(4)	移動体験教室・講師派遣	22
(5)	団体利用 · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	24
(6)	博物館実習・職場体験・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	24
(7)	熊本県博物館ネットワークセンターミュージアムパートナーズ制度	25
(8)	熊本県博物館ネットワークセンターミュージアムパートナーズクラブ	25
(9)	学校移動展示用パッケージ作成	26
5 資	料収集整理活動	
(1)	熊本県博物館資料データベース事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	27
(2)	熊本県学芸員等人材データベース事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	27
	資料収集・整理状況 ····································	28
6 資	料	
(1)		34
(2)	熊本県博物館ネットワークセンター条例	35
(3)		38
(4)	熊本県博物館ネットワークセンターへのアクセス	39

# 1 展示活動

# (1)企画展示

### 1 くまもとの地質

開催期間 平成30年3月6日(火)~5月27日(日)

協 力 天草市立御所浦白亜紀資料館、天草ジオパーク推進協議会、阿蘇ジオパーク推進協議会、御船町恐竜博物館、熊本県高等学校教育研究会地学部会、MPC阿蘇火山調査会、MPC地学研究会、MPCくまもとの大地の成り立ち

観覧者数 531人(平成30年4月1日~5月27日)

展示点数 165点(うち借用資料2点)

担 当 黒田治、廣田志乃



熊本県を6つの地域に分け、それぞれの地域で採取した岩石・鉱物・化 石を見ながら熊本県の地質を解説し、自分たちが暮らす土地の成り立ちや生活との関係を紹介した。

### (展示構成と主な展示資料)

### (7) 熊本の地質解説・県の石

導入として熊本県全体の地質について解説し、2016年に選定された「県の石」について紹介した。また、昭和6年の天覧石材標本について紹介した。

### (主な展示資料)

石神山、石貫ナギノ横穴群、御船層群、御所浦層群[写真]、鱗珪石、 溶結凝灰岩、恐竜化石(レプリカ借用)、天覧石材標本(竹葉石、 高野辺田石)[標本]

### (イ) 県北周辺

プレートの活動でできた岩石、マグマが冷えて固まった岩石よりなり、荒尾以北には石炭を含む地層が分布する。また、約300万年前の火山や湖の堆積物がある。

### (主な展示資料)

不動岩、万田坑、三加和鉱山、星原層、相良層、小岱山、岳間渓谷(金原の滝)[写真]、石炭、砕石、石灰岩、マンガン鉱山、アスベスト[産業等]、不動岩の礫、結晶片岩、石灰岩、変はんれい岩、石炭や同じ時代の化石、花崗岩、マサ、八方ヶ岳周辺の岩石、湖堆積物の化石[標本]

### (ウ) 県央周辺

約100万年前~15万年前頃に活動していた金峰火山があり、熊本平野は地下水を豊富に溜めている。 南にはプレートの活動でできた岩石や恐竜のいた時代に堆積してできた地層が帯状に分布している。 現在も構造的な活動が起こっている地域でもある。

#### (主な展示資料)

金峰山、芳野層、城山銅山、津森層、ふとん岩、平岩の不整合、前越の海岸 [写真]、銅山、アスベスト、砕石 [産業等]、金峰火山の岩石、湖堆積物の化石、結晶片岩、片麻岩、竹葉石、銅山の鉱石、白亜紀の岩石・化石 [標本]

### (工) 阿蘇

大規模噴火によってカルデラが形成され、それ以前の火山活動によってできた山や湖の地層もカルデラの外側に見られる。カルデラ内にはカルデラ形成後に生じた中央火口丘群が分布し、中岳は現在も活動している。





### (主な展示資料)

阿蘇五岳、布田の滝、古閑の滝、十六羅漢、南阿蘇の岩脈、リモナイト鉱山 [写真]、リモナイト、観光、地下水 [産業等]、リモナイト、古い火山活動の岩石、湖堆積物の化石、中央火口丘群の岩石、剥ぎ取り標本 [標本]

### ○阿蘇火砕流堆積物

菊池の千畳河原、五老ヶ滝、馬門石、手野湧水、木郷の露頭、岩戸神社[写真]、溶結凝灰岩(県内全域)「標本]

### (才) 県南周辺(八代市中心)

九州山地はプレート活動によって押し上げられてできた急峻な地形であり、褶曲や断層が発達し、様々な時代の色々な地層や岩石が複雑に分布している。

### (主な展示資料)

大島、鳩山、坂本の魚卵状石灰岩露頭、褶曲露頭、矢山岳、立神峡、種山鉱山[写真]、石灰岩、灰石、マンガン鉱山、種山石工 [産業等]、結晶質石灰岩、石灰岩、玄武岩、チャート、化石(古生代~中生代)、輝岩 [標本]

### (力) 県南周辺(人吉・葦北)

プレートの活動によってできた地層よりなるが、人吉市西部から水俣市にかけては約400万年前~120万年前の火山噴出物が広く分布し、人吉市周辺には湖の堆積物が広く分布する。阿蘇の他に宮崎や鹿児島の火砕流堆積物も分布する。

### (主な展示資料)

鶴木山石灰岩、吉尾銅山、重盤岩、なべ滝、神瀬鍾乳洞、球泉 洞、メガロドン、枕状溶岩露頭、球磨総合運動公園(人吉層)、 柱状節理[写真]、銅山、その他鉱山、石灰岩、鍾乳洞[産業 等]、石灰岩、火山岩(枕状溶岩、肥薩火山岩類)、花崗岩、



チャート、湖堆積物の化石、 阿蘇以外の溶結凝灰岩、 鉄平石、 そろばん玉石 「標本]

### (キ) 天草

天草上島と下島の大部分は約1億年前~5000万年前に堆積してできた地層が分布しており、下島では 石炭を含んでいる。西海岸にはプレートの活動によってできた岩石もある。約1300万年前の火山活動で できた岩石は陶石や砥石として利用されている。三角岳から大矢野島にかけては約400万年前~300万年 前の火山噴出物が分布し、湖の堆積物も点在する。湖の堆積物は下島北東部にも分布する。

### (主な展示資料)

海食洞、江樋戸の砥石採石場、ケスタ地形、多島海、陶石採石場、高浜変成岩、妙見浦、烏帽子抗、牛 深凝灰角礫岩、富岡半島、鬼の城公園、湯島[写真]、石炭、下浦石工、石材(下浦石、湯島石、御 領石)石、砥石、観光 [産業等]、化石(御所浦層群、姫浦層群、弥勒層群、本渡層群、坂瀬川層群、 佐伊津層、大矢野層)、玄武岩、陶石、砥石、石炭、大矢野の火山岩 [標本]

### (ク) 熊本地震との関連

まとめもかねてパネルで紹介

#### 関連企画

#### 地層の観察会

場
所
御輿来海岸及び宇土マリーナ周辺

開催期日 平成30年4月28日(十)

参加人数 14名

講 師 熊本市立錦ヶ丘小学校 教諭 川路芳弘氏

担 当 黒田治、廣田志乃

# ② くまもと 暮らしの暦 ~民俗写真家の眼差し~

開催期間 平成30年6月5日~7月15日

観覧者数 379人

展示点数 69点

担 当 國本信夫、迫田久美子

### (展示趣旨)

当センターが収蔵する白石巌氏の民俗写真の中から、人々が季節に応じた仕事や行事を行っていた時代の暮らしにスポットを当て、ともすれば季節の移ろいを忘れがちな現代、白石氏の写真を通して、熊本の暮らしの移り変わりなどを紹介した。





### (展示構成と主な展示資料)

## (7) 春

タイトル	撮影地	撮影年	登録番 <del>号</del>	オリジナルメディア
汐干狩	宇土市網田	昭和39年(1964)	PF25-000159	35mm モノクロネガ
山菜採り	熊本市西区	昭和43年(1968)	PF31-000009	35mm モノクロネガ
野焼き	阿蘇郡	昭和48年(1973)	PF27-000723	35mm モノクロネガ
ウマウリ	菊池市龍門	昭和50年(1975)	PF81-003896	35mm モノクロネガ
代均し	菊池郡大津町	昭和60年(1985)	PF22-001446	35mm モノクロネガ
臼飾り	上天草市松島	昭和61年(1986)	PF81-006327	35mm モノクロネガ
れんげ畑	撮影地不明	昭和39年(1964)	未登録	35mm モノクロネガ
植木市	熊本市中央区	昭和40年(1965)	PF32-000195	35mm モノクロネガ
モグラウチ	熊本市南区	昭和42年(1967)	PF81-001679	35mm モノクロネガ
集団就職	宇城市三角町	昭和45年(1970)	未登録	35mm モノクロネガ
農具市	阿蘇市一の宮町	昭和48年(1973)	PF32-000895	35mm モノクロネガ
春祈祷	球磨郡五木村	昭和48年(1973)	PF51-010057	35mm モノクロネガ
わかめ干し	宇土市網田	昭和49年(1974)	PF25-001447	35mm モノクロネガ
シュンナメジョ	球磨郡あさぎり町	昭和51年(1976)	PF81-004399	35mm モノクロネガ
井手さらい	熊本市北区	昭和53年(1978)	PF41-000909	35mm モノクロネガ
ドンドヤ	熊本市中央区	昭和58年(1983)	PF81-005836	35mm モノクロネガ

# (イ) 夏

茶摘み	熊本市北区	昭和39年(1964)	PF22-000189	35mm モノクロネガ
夜市	熊本市中央区	昭和39年(1964)	PF32-000173	35mm モノクロネガ
海水浴	上天草市大矢野町	昭和40年(1965)	未登録	35mm モノクロネガ
虫追い	天草市河浦町	昭和47年(1972)	PF81-002872	35mm モノクロネガ

カワマツリ	山鹿市鹿本町	昭和48年(1973)	PF81-003544	35mm モノクロネガ
端 <del>午</del>	天草市倉岳町	昭和50年(1975)	PF82-001810	35mm モノクロネガ
田植え	菊池郡大津町	昭和60年(1985)	PF22-001448	35mm モノクロネガ
来民うちわ	山鹿市鹿本町	昭和39年(1964)	PF29-000225	35mm モノクロネガ
ごぼう収穫	撮影地不明	昭和39年(1964)	未登録	35mm モノクロネガ
茅の輪くぐり	玉名市繁根木	昭和39年(1964)	PF81-000846	35mm モノクロネガ
苗取り	宇土市	昭和39年(1964)	PF22-000513	35mm モノクロネガ
蓮根収穫	宇土市	昭和39年(1964)	PF22-000536	35mm モノクロネガ
海岸で牛洗い	上天草市大矢野町	昭和40年(1965)	PF27-000537	35mm モノクロネガ
干し蛸	上天草市大矢野町	昭和40年(1965)	PF25-000293	35mm モノクロネガ
いわし干し	上天草市大矢野町	昭和40年(1965)	PF25-000325	35mm モノクロネガ
市場の西瓜	熊本市北区	昭和44年(1969)	PF32-000597	35mm モノクロネガ
ふか狩り	天草郡苓北町	昭和47年(1972)	PF25-001322	35mm モノクロネガ

# (ウ) 秋

草泊まり	阿蘇郡	昭和40年(1965)	PF27-000223	35mm モノクロネガ
カンチョ収穫	天草市有明町	昭和42年(1967)	PF22-001194	35mm モノクロネガ
稲刈り	阿蘇郡南阿蘇村	昭和49年(1974)	PF22-001345	35mm モノクロネガ
オロガキ漁	玉名郡和水町	昭和50年(1975)	PF25-001473	35mm モノクロネガ
掛け干し	上益城郡甲佐町	昭和52年(1977)	PF22-001386	35mm モノクロネガ
盆踊り	阿蘇市波野	昭和50年(1975)	PF71-006228	35mm モノクロネガ
八朔のナスビウマ	熊本市西区	平成3年(1991)	PF81-006523	35mm モノクロネガ
脱穀	宇土市	昭和38年(1963)	PF22-000504	35mm モノクロネガ
みかん運搬ケーブル	熊本市西区	昭和40年(1965)	PF22-000227	35mm モノクロネガ
七夕綱	葦北郡芦北町	昭和47年(1972)	PF81-002994	35mm モノクロネガ
風祭り	阿蘇市一の宮町	昭和47年(1972)	PF51-007904	35mm モノクロネガ
火焚神事	阿蘇市役犬原	昭和47年(1972)	PF51-007952	35mm モノクロネガ
精霊流し	熊本市南区	昭和49年(1974)	PF81-003783	35mm モノクロネガ
地蔵祭り	阿蘇市内牧	昭和50年(1975)	PF81-004181	35mm モノクロネガ
十五夜綱引き	球磨郡あさぎり町	昭和50年(1975)	PF81-004220	35mm モノクロネガ
七夕棚	天草市深海町	昭和57年(1982)	PF81-005729	35mm モノクロネガ
豆打ち	菊池郡大津町	昭和61年(1986)	PF22-001492	35mm モノクロネガ

# (I) 冬

切干大根	阿蘇郡高森町	昭和38年(1963)	PF12-000004	35mm モノクロネガ
干柿作り	宇城市小川町	昭和41年(1966)	PF22-000584	35mm モノクロネガ
櫨ちぎり	山鹿市鹿央町	昭和41年(1966)	PF21-000005	35mm モノクロネガ
石焼き芋売り	熊本市中央区	昭和42年(1967)	PF32-000344	35mm モノクロネガ
海苔収穫	玉名郡長洲町	昭和47年(1972)	PF25-001053	35mm モノクロネガ
大黒さん迎え	阿蘇市波野	昭和50年(1975)	PF81-004225	35mm モノクロネガ
舟の松飾り	天草市有明町	昭和53年(1978)	PF81-005259	35mm モノクロネガ
メーダゴ	八代市泉町	昭和48年(1973)	PF81-003330	35mm モノクロネガ
大根洗い	熊本市北区	昭和38年(1963)	未登録	35mm モノクロネガ
藺苗割り	撮影地不明	昭和38年(1963)	PF22-000782	35mm モノクロネガ

このしろの水揚げ	熊本市西区	昭和39年(1964)	PF25-000037	35mm モノクロネガ
薪運び	熊本市東区	昭和39年(1964)	PF31-000008	35mm モノクロネガ
障子洗い	菊池市旭志	昭和41年(1966)	PF13-000006	35mm モノクロネガ
注連飾り市	熊本市中央区	昭和41年(1966)	PF81-001410	35mm モノクロネガ
とうもろこし干し	阿蘇郡南阿蘇村	昭和47年(1972)	PF12-000019	35mm モノクロネガ
籾干し	阿蘇郡南阿蘇村	昭和47年(1972)	PF22-001326	35mm モノクロネガ
芋車	阿蘇郡南小国町	昭和48年(1973)	PF12-000036	35mm モノクロネガ
亥の子つき	熊本市北区	昭和54年(1979)	PF81-005528	35mm モノクロネガ

### ③ 知られざる明治の熊本人

開催期間 平成30年7月24日~9月24日

観覧者数 940人 展示点数 52点

担 当 中村幸弘、松本晃世、堤将太

### (展示趣旨)

平成30年(2018)は、明治元年(1968)から起算して満150年、つまり「明治150年」に当たり、近代国家として歩み始めた明治時代の日本では、国内外の諸問題に直面していく、まさに激動の時代と言え、そんな時代の荒波を乗り越えようと活躍した人々が、ここ熊本にも多くいます。

本企画展では、当センターで所蔵する資料を通して、意外と知られていない熊本ゆかりの人々を紹介します。

### (展示構成と主な展示資料)

### (7) 明治時代の熊本

明治時代の日本とそのころの熊本について関係資料とともに紹介。

### (主な展示資料)

鹿児島英雄揃、改暦弁、地券、日露戦争から凱旋した第六師団 熊本駅(写真)、役名改革并座班式官捧記、村々小前共江

### (イ) 明治を生きた熊本人の素顔

明治時代に活躍した熊本人として、辛島格、美當一調、米村靖雄、甲斐有雄、安藤経俊、竹田ハツメ、下山群太の7名をそれぞれの関係資料とともに紹介。

### (主な展示資料)

辛島格熊本市長就任裁可通知書、谷干城書簡、興行日記、征露 丸缶、日記、道標建設記、安藤経俊一代ノ履歴草稿、戦争概略 晴雨日誌、看護婦証書、明治三十七・八年戦役救護紀念章、後 徴記、下山群太翁十年之役官軍従軍履歴



#### 関連企画

### 講演会

演 題 「肥後の維新」をとらえなおす

講師 熊本大学 永青文庫調査研究センター

准教授 今村直樹 氏

会 場 熊本県博物館ネットワークセンター

開催期日 平成30年8月5日(日)

観覧者数 16名

担 当 中村幸弘、松本晃世、堤将太



### ④ ちょっと昔のくらし探検IX

開催期間 平成30年10月2日(火)~12月16日(日)

後 援 熊本県教育委員会 宇城市教育委員会

観覧者数 1,114人

展示点数 134点

担 当 國本信夫、迫田久美子



### (展示趣旨)

昭和30年代後半から40年代にかけて、高度経済成長の下、機械化、電化、石油を中心とした化学製品の普及により日々

の暮らしは激変した。これほどの日々の暮らしの急変は日本人がこれまで経験したことがないものであった。昭和30年代後半から40年代まで普通に使われていた暮らしや仕事の道具の中から、小学校3・4年生社会科で取り上げられる「古くから残る暮らしにかかわる道具、それらを使っていたころの暮らしの様子」の単元に対応した道具を中心に紹介し、今年度は、更に身近な素材ワラをどのように暮らしに利用してきたかを紹介するコーナーを設け、暮らしの変化を実感することを目指した。

### (展示構成と主な展示資料)

### (7) 台所今昔

水道、家電製品、ガス製品の普及で台所の様子は一変した。 今では簡単にできることでも昔は大変な労力が必要だった。 ご飯を炊くにも火をおこし、火加減を見ながら炊かなければ ならなかった。そんな時代の食生活に関わる道具と使い方を 紹介。



### (主な展示資料)

羽釜、火吹き竹、電気釜、飯びつ、箱膳、ちゃぶ台、豆腐箱、 醤油瓶

### (イ) より明るく、暖かく

オール電化の住宅では日常炎を見ることは稀であろう。そうでなくてもスイッチーつで明るくなり、 温度が調節できるのは当たり前である。しかし、昔は部屋を明るくするにも暖かくするにも火を 燃や さなければならなかった。そんな時代の明かりと暖房の器具を紹介。

### (主な展示資料)

燭台、行灯、提灯、ランプ、電灯、火鉢、炬燵、湯たんぽ、 電気行火

### (ウ) 洗濯と裁縫

今では水道の蛇口を開けば水が出るというのは当たり前であるが、水道が普及する以前の水仕事は

大変であった。 井戸で水を汲み 盥 で洗濯をした時代の洗濯と衣類に関する道具を紹介。

### (主な展示資料)

井戸の滑車、洗濯機、炭火アイロン、足踏みミシン、絎け台、仕事着、ドンザ

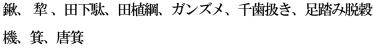
### (エ) 田畑で働く

昭和30年代後半から農業の機械化が進められ、農機具も激 変

した。弥生時代に稲作道具が伝えられて以来、工夫が重ねられ、 改良されてきた機械化以前の農機具を紹介する。

### (主な展示資料)

からすき





戦後の拡大造林期を経て、山は景観も代わり、仕事内容も 機械の導入で大きく変わった。人の力で木を切り、板を切り出 していた時代の山の道具を紹介する。

### (主な展示資料)

山鋸、大鋸、切り斧、ハツリ斧、造林鎌、皮剥、鳶口、万力爪

# (カ) 海・川で働く

漁業も機械化、大型化で大きく変わった。沿岸漁業は衰退し、獲る漁業から栽培する漁業への転換 が図られている。以前の海漁、川漁の道具を紹介。

### (主な展示資料)

餌木、擬餌鉤、蛸壺、魚伏籠、魚籠、鰻筌、鰻掻、鋤簾、やす

# (キ) 桶・樽・盥

木製の桶・樽・盥は、かつては家に必ず数種類はあり、最 も身近な道具で、暮らしに欠かせないものでした。現在、多く が金属やプラスチック製品に置き換わり、家庭で見かけること は稀となりました。洗い物や食糧保存など様々な用途で使われ てきた桶・樽・盥について紹介した。

# (主な展示資料)

# 水桶、粉桶、寿司桶、魚桶、飼い葉桶、水樽、浮樽、洗面盥など

### (特記事項)

学校団体見学 7校8回

(見学時には展示説明のほ か、体験学習として天秤棒 による水運び、洗濯板によ る洗濯、火熨斗によるアイ ロンがけなどを実施)













### 5 くまもとの水辺の植物

開催期間 平成31年1月4日(金)~3月17日(日)

観覧者数 744人

展示点数 標本103点

扫 当 金重雅彦、前田哲弥

### (展示趣旨)

水資源が豊富な熊本県に見られるさまざまな水辺環境と、そこに生育する水辺の植物を紹介することをとおして、これらの環境や生物への興味や熊本県の自然に対する関心を引き出すことを目的とする。

### (展示構成と主な展示資料)

### (7) 導入

展示の概略、熊本県で見られる水辺環境や本展示で扱う水辺植物(主として顕花植物)の説明。

### (イ) さまざま水辺環境と水辺の植物

水辺環境の種類とそれぞれの環境に生育する水辺の植物の特徴を解説する。

### (主な展示資料)

マコモ、イグサ、ヒシ、ジュンサイ、オオカナダモ、ササバモ、 ボタンウキクサ、イヌタヌキモ、ヒガタアシ、シチトウイ、 シバナ、コアマモなど

# (ウ) 多様な水草

主に水辺の植物から成る分類群をとり上げ、それらの解説と標本の紹介をする。

### (主な展示資料)

スイレン科:オニバス、コウホネ、オモダカ科:オモダカ、 アギナシ、ウリカワ

トチカガミ科:ミズオオバコ、スブタ

ヒルムシロ科:ヒラモ、ウミヒルモ、ヒルムシロ各種

ガマ科:ガマ、コガマ、ヒメガマ

カヤツリグサ科:フトイ属各種、ハリイ属各種など

### (エ) 熊本の水辺

熊本県で見られる水辺環境(江津湖、阿蘇、白岳)を写真で紹介 する。

### (主な展示資料)

江津湖の植物標本(ラミネート加工、冊子状)、サクラソウ、 ウメバチソウ、ツクシフウロ、コシンジュガヤ、イヌノハナヒゲ、 サワヒヨドリ、ヒトモトススキなど









### ⑥ 金峰山の地質

開催期間 平成31年3月26日(火)~令和元年5月27日(日)

協力熊本博物館

観覧者数 144人

展示点数 101点

担 当 黒田治、廣田志乃

### (展示趣旨)

熊本市街地の西方から玉名市南西部にかけての地域は、金峰山(一ノ岳・標高665m)を中心とした山地で、"西山"とも呼ばれ、地元の人々の生活の場であり、信仰の場でもある。しかし、これらの山がかつて活動していた火山であるということは、あまり知られていない。そこで、金峰山地域の山々から採取した岩石とともに火山としての一面を紹介し、その成り立ちについて解説した。また、湧水や石材などの資源といった、生活との関連についても紹介した。なお、平成29年度、30年度に開催した講座「金峰山の地質」の内容を元に、関連する内容を追加して再構成したものである。

### (展示構成と主な展示資料)

### (7) 金峰火山とは?

金峰山地域の概要と金峰火山の成り立ちをパネルで解説した。

### (主な展示資料)

金峰山地域のアナグリフ(国土地理院の3D地図)

### (イ) 金峰火山をつくる岩石

金峰火山を構成する岩石を、古い火山を作った岩石(金峰 火山古期噴出物)、三ノ岳・二ノ岳を作った岩石(金峰火山 中期噴出物)、一ノ岳を作った岩石(金峰火山新期噴出物) の3つに分け、現地の写真と合わせて展示し、解説した。

#### (主な展示資料)

荒尾山、石神山、松尾町、玉名市南部、熊本市西区花園などで採取した岩石(金峰火山古期噴出物)、三ノ岳と二ノ岳、周辺で採取した岩石(金峰火山中期噴出物)、面木の採石場、金峰山山頂付近で採取した岩石(金峰火山新期噴出物)(標

本)、岩戸観音、天福寺、石神山、流れ山、面木の採石場など(写真展示)



### (ウ) 湖の堆積物芳野層

金峰カルデラ内にできたカルデラ湖で堆積した芳野層について、地質や堆積当時の気候を露頭写真や化石標本とともに解説した。

### (主な展示資料)

ブナ、ハリモミ、タカオカエデ、イヌシデ、ツガなどの植物 化石(標本)、ゾウムシ、ゲンゴロウ、ウスキホシテントウ などの昆虫化石(写真・熊本博物館より借用)、珪藻化石 (写真)、熊本市西区松尾町平山、河内町岳などに見られる 露頭(写真展示)





### (エ) 金峰火山の資源

熊本城の石垣や天覧標本をはじめとする金峰火山やその地域で採取した石材を紹介した。また金峰火山地区で採取した鉱物などを紹介した。

### (主な展示資料)

天覧石材標本(金峰火山に関連する岩石)、花岡山で採取した岩石、鱗珪石、ザクロ石、藍鉄鉱、磁鉄鉱、磨き砂など (標本)



### (才) 金峰山湧水群

環境省より平成の名水百選に選定された金峰山湧水群(20箇所)について、写真とともに紹介した。 また、水質調査の結果も紹介した(分析:熊本県立第二高等学校)。

### (主な展示資料)

三賢堂、長命水、天水湖、平山(北・南)の湧水など(写真)

### (力) 金峰山地域のこぼれ話

金峰山地域に伝わる話の中で地学と関連するものについて、パネルで紹介した。

### (内容)

不思議な石達 拝ヶ石巨石群、2つの熊本地震と奇跡の夫婦岩、和歌にも詠まれた肥後耶馬溪、金峰火山と夏目漱石小説『草枕』、檜垣と宮本武蔵 岩戸観音(パネル)

# (2) 移動展示

### ① 熊本の地質

会 場 阿蘇火山博物館

開催期間 平成29年3月30日(木)~平成31年3月31日(日)

展示点数 27点

展示概要 化石、岩石、石材の3つのコーナーに実物標本及びパネルを展示し、熊本の地質について 熊本の地質を伝える展示。化石コーナーでは、熊本の代表的な化石を時代ごとに展示、岩 石コーナーでは、熊本の代表的な岩石を、堆積岩、火成岩、変成岩に分類して展示、石材 コーナーでは、熊本の代表的な石材を展示。

担 当 黒田治、廣田志乃

### ② ちょっと昔の暮らし拝見

会 場 熊本県環境センター

開催期間 平成30年4月18日(水)~5月21日(月)

観覧者数 1,942 人

展示点数 18点

展示概要 民俗写真家白石巌氏が撮影した写真の中から高度経済成長期以前の暮らしの様子を撮影された写真を展示。今とは違う昔の暮らしを紹介。

担 当 國本信夫、迫田久美子





### ③ 阿蘇の植物

会 場 南阿蘇ビジターセンター

開催期間 平成30年5月28日(月)~6月10日(日)

観覧者数 2,374人

展示点数 66点

展示概要 阿蘇に生育する貴重な植物を、生育環境別(火山荒原、森林、草原、湿地)に写真展示。

担 当 金重雅彦、前田哲弥







# ④ くまもと 暮らしの暦 ~民俗写真家の眼差し~

会 場 合志市歴史資料館

開催期間 平成30年9月8日~10月5日

観覧者数 カウンター故障のため不明

展示点数 29点

展示概要 ネットワークセンターで実施した「くまもと 暮らしの暦」から29点をピックアップして

展示

担 当 國本信夫、迫田久美子





# ⑤ くまもとの地質

会 場 長洲町 金魚の館

開催期間 平成30年11月15日~12月24日

観覧者数 12,579人 展示点数 132点

展示概要 平成29年度第6回企画展「くまもとの地質」を元に、県北の地質に重点を置いて再構成し

たもの。熊本県を6つの地域に分け、それぞれの地域で採取した岩石・鉱物・化石を見ながら熊本県の地質を解説し、自分たちが暮らす土地の成り立ちや生活との関係を紹介した。

担 当 黒田治、廣田志乃







# (3) 県市連携展示「熊本のいきものたち」

「熊本県博物館ネットワークセンター」64万点のコレクションの中から、生物分類ごとに選定された実物標本を展示することで、熊本の自然環境と生物の多様性、生態系の豊かさを知る展示を行い、さまざまな生物の実物標本をできるだけ多く展示することで、実物に接する大切さを伝え、標本を見て観察することから、自然科学への興味の扉を開くきっかけとする。

熊本県博物館ネットワークセンターサテライト展示室での展示をきっかけに自然探究への興味・関心を 高め、フィールドへと誘うことを目指す。

### ① 展示場所及び面積

展示場所:熊本博物館2F常設展示室

展示面積:286.75m<sup>2</sup>

# 2 展示資料点数

区	分	展示資料種数(標本種数)
	哺乳類	39種
	鳥類	57種
	爬虫類	16種
動物	両生類	16種
到初	魚類	47種
	昆虫	425種
	貝類	246種
	その他	31種
	さく葉標本	63種
植 物	キノコ類	15種
	海藻等	19種
合計		974種

### ③ 展示(出品)資料(一例)



### ■クロツラヘラサギ

推定生息数2,700羽程度の国際的な絶滅危惧種。

朝鮮半島北部で繁殖し、主にベトナムや台湾で越冬しているが、九州にも僅かながら飛来する。なお、県内では、有明海や八代海の沿岸域で観察することができる。「熊本県の保護上重要な種」に選定されており、カテゴリーは絶滅危惧 I B類(※)。

(※) 熊本県において、ごく近い将来における野生での絶滅の可能性が高いもの。



#### ■コバネアオイトトンボ

県北、県央、天草地域で確認されていたが、現在は県北(山鹿市)の ため池1ヶ所でのみ生息が確認されており、個体数も減少している。

「熊本県の保護上重要な種」に選定されており、カテゴリーは絶滅危惧 I A類(※)。

(※) 熊本県において、ごく近い将来における野生での絶滅の可能性が極めて高いもの。



### ■ハナシノブ

ハナシノブの野生種は、国の特定国内希少野生動植物に指定(※)されており、現在、世界で阿蘇地域にのみ生育している。生育数は、2,000個体程度と推定されており、野生種の採取は禁止されている。「熊本県の保護上重要な種」に選定されており、カテゴリーは絶滅危惧 I A 類。

(※) 「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律」に基づき、特定国内希少野生動植物の植物部門に指定された6種類のうちの一つ。

### 4 県民活動紹介コーナー

県民の自然に親しむ活動を紹介するコーナーを設置。県民全体で自然や文化に親しむきっかけとなるように、MPCの活動の成果等を展示している。

### ⑤ フィールドへの誘い

熊本県を大きな博物館(フィールドミュージアム)として、県内各地域で観察される動植物や地質について紹介し、県民の自然に対する興味関心を引き出す。

# (4) 博物館ネットワークセンター阿蘇展示室

平成31年3月17日(日)、阿蘇火山博物館2階に、博物館ネットワークセンター阿蘇展示室を開設しました。ここでは、当センターの資料により、阿蘇を中心に熊本の自然や文化について展示します。

### 1 展示場所

阿蘇火山博物館2階

#### ② 展示内容

- (ア) 化石、岩石、石材の3つのコーナーに実物標本及びパネルを展示し、熊本の地質について伝える展示。 化石コーナーでは、熊本の代表的な化石を時代ごとに展示、岩石コーナーでは、熊本の代表的な岩石 を、堆積岩、火成岩、変成岩に分類して展示、石材コーナーでは、熊本の代表的な石材を展示。
- (4) 阿蘇の環境(草原、森林等) 別に見られる特徴的な植物の写真を展示

# 2 情報発信活動

# (1) 熊本県総合博物館ネットワーク・ポータルサイト

事業目的 インターネット上で資料データやイベン 麻本県総合博物館ネットワーク・ボータルサイト

ト情報等を提供し、参加館等における資料 管理、調査研究、情報発信、県民の博物館

活動への参加等を支援する。

平成27年10月より運用開始。

参加館等 21館、3市町村(平成31年3月31日現在)

URL 熊本県総合博物館ネットワーク・ポータル サイト

http://kumamoto-museum.net/



# (2) 出版物

広報誌(熊本の自然と文化 ~熊本県博物館ネットワークセンターだより)

① 40号

**発 行 日** 平成30年8月10日(金)

掲載内容 イベント情報 (企画展、フィールドミュージアムへ飛びだそう!)

資料紹介 興業日記 (美當一調関連資料) : 歴史

資料紹介 ジュンサイ:植物

資料紹介 磨き砂 (阿蘇-4 火砕流堆積物) : 地学

資料紹介 曲げ物弁当入れ:民俗 資料紹介 シータテハ:動物

② 41号

**発 行 日** 平成30年11月1日(木)

掲載内容 イベント情報 (企画展、フィールドミュージアムへ飛びだそう!)

資料紹介 ドジョウ:動物

資料紹介 切支丹宗門之者御預帳:歴史 資料紹介 コウガイセキショウモ:植物

資料紹介 託麻三山:地学資料紹介 桶屋道具:民俗

③ 42号

**発 行 日** 平成31年3月5日(火)

掲載内容 イベント情報(企画展)

資料紹介 水樽:民俗

資料紹介 キリシマミドリシジミ:動物

資料紹介 弯窠羅針(宇城市小田家資料):歷史

資料紹介 オニバス:植物 資料紹介 芳野層:地学

# 3 研修活動

# (1)総合プロデューサー育成研修

### 1) 目的

高い企画能力を持ち、効果的なプロモーション活動や広報活動が行える総合プロデューサー的な能力を有する学芸員等の育成。

### ② 研修会

○第1回 「地域と博物館」

主 催 熊本県博物館連絡協議会

熊本県博物館ネットワークセンター

期 日 平成30年6月29日(金)

場 所 山江村農村環境改善センター

参加者 22名

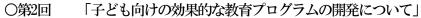
講師長崎歴史文化博物館

学芸グループ リーダー 竹内 有理氏

内 容 地域の活動と博物館活動を結びつけること

により、多くの人に博物館の魅力を発信し、

非利用者層への効果的なアプローチの方法を学ぶ。



主 催 熊本県博物館ネットワークセンター

期 日 平成31年3月4日(月)

場 所 熊本県博物館ネットワークセンター

参加者 24名

講 師 九州産業大学 地域共創学部

教授 緒方 泉氏

内 容 博物館の持つ機能と学校教育を結びつける

ことで、児童・生徒の興味関心を引出し、 新学習指導要領に示された主体的・対話的 で深い学びにつなげていくプログラムを考

に深い字ひにつなりていくプログラムを

えるきっかけとする。



# (2) スキルアップ研修

### 1 目的

講座・実習をとおし資料保存、展示技術、展示評価等の技能向上、及び、各博物館の取組の紹介や 共同事業などに係る意見交換会をとおし、県内博物館の運営力向上を図る。

### 2 研修会

○第1回 「古文書の補強技術について」

主 催 熊本県博物館ネットワークセンター

期 日 平成30年9月14日(金)

場 所 熊本県博物館ネットワークセンター 学習ルーム

**参加者** 13名

講 師 三木市文化財保護審議会委員 尾立和則 氏

内 容 古文書の裂けや破れを補強する事で、古文書の取扱いや文字が読めるようにするため の応急的な補強技術について学ぶ。

○第2回 「資料の写真撮影の技術や現在の動向について」

主 催 熊本県博物館ネットワークセンター

期 日 平成30年11月28日(水)

場 所 熊本県博物館ネットワークセンター 学習ルーム

参加者 22名

講師熊本県教育庁教育総務局

文化課 文化財調查班 長谷部善一 氏

内容資料の写真撮影時に必要な技術や注意種、写真撮影

の技術や機材の現在の動向について学ぶ。

○第3回 「室内空気汚染の基礎知識について」及び情報交換会

主 催 熊本県博物館ネットワークセンター

期 日 平成31年2月15日(金)

場 所 熊本県博物館ネットワークセンター 学習ルーム

参加者 25名

講師独立行政法人国立文化財機構東京文化財研究所

保存科学研究センター センター長 佐野千絵 氏

内 容 室内空気汚染の性質や室内空気汚染による文化財

の劣化と対策について学ぶ。





# (3) 教員のための博物館の日 i n態本

### ① 目的

博物館等と学校との連携を図る必要があることから、他機関の協力を得ながら、教職員を対象とした研修会を通して、博物館活動に興味・関心や親近感を持ち、授業で活用できる学習資源として認識してもらう。

### ② 研修会

主 催 熊本県博物館ネットワークセンター

共 催 国立科学博物館、(公財)日本博物館協会、(公財)阿蘇火山博物館、

天草市立御所浦白亜紀資料館、天草ジオパーク推進協議会、宇城市不知火美術館、 熊本県環境センター、熊本県伝統工芸館、熊本県立装飾古墳館、熊本県立美術館、

熊本市塚原歴史民俗資料館、熊本博物館、くまもと文学・歴史館、御船町恐竜博物館

後 援 文部科学省、熊本県教育委員会、熊本県博物館連絡協議会

期 日 平成30年8月17日(金)

場 所 熊本県博物館ネットワークセンター

参加者 44名

内 容 講演

博物館と学校との連携

~教員のための博物館の日~

講師

国立科学博物館連携・推進学習センターセンター長 小川義和 氏



### ワークショップ

- ①なりきりすごろくde鑑賞体験、石の標本作り、編布(あんぎん)作り
- ②言葉と体で絵を見つけよう、化石レプリカ作り、電気コイルモーター&水中UFOキャッチャー作り、火おこし体験
- ③竹箸(たけばし)作り、UVビーズストラップ作り、創作キットで俳句を作ろう
- ④剥ぎ取り標本作製 (阿蘇火山博物館で実施)
  - 参加者は①、②、③、④の中からそれぞれ1つを体験する。(事前申し込み)

### ①の活動風景



なりきりすごろく de鑑賞体験



石の標本作り



編布(あんぎん)作り

### ②の活動風景



言葉と体で絵をみつけよう



化石レプリカ作り



電気コイルモーター& 水中UFOキャッチャー作り



火おこし体験

### ③の活動風景



竹箸(たけばし)作り



UVビーズストラップ作り



創作キットで俳句を作ろう

# 4 学習支援活動

# (1) フィールドミュージアムへ飛びだそう! 県内各地で行う家族向け自然観察会

### ① 海辺の生き物を観察しよう

開催期日 平成30年6月30日(土)

場 所 天草市牛深

参加人数 32人

概 要 天草市牛深町枇杷の首海岸にて、内湾性・外洋 性貝類を中心とした海洋生物の観察

講師 松本達也氏

担 当 天野守哉、中薗洋行



### ② 食虫植物を観察しよう

開催期日 平成30年7月21日(十)

場 所 上天草市姫戸(白嶽森林公園)

参加人数 17人

概 要 白嶽森林公園内を散策しながら、食虫植物を中 心とした水辺の植物を観察

担 当 金重雅彦、前田哲弥



### ③ 阿蘇の昆虫を観察しよう

開催期日 平成30年7月28日(土)

所 阿蘇草原学習館、ゆたっと村

参加人数 20人

概 要 阿蘇の草原の説明とゆたっと村周辺に生息する 昆虫の観察

共 催 環境省指定国立公園管理団体 公益財団法人阿 蘇グリーンストック

担 当 天野守哉、中薗洋行



### ④ 川原の石を観察しよう

開催期日 平成30年7月29日(日)

場 所 人吉市球磨川

参加人数 10名

概 要 川原の石の種類や大きさの観察

講師 川路芳弘氏(熊本市立錦ヶ丘中学校)

担 当 黒田治、廣田志乃



# ⑤ 夏の星空観察会「火星が大接近」

開催期日 平成30年7月31日(火)

場所熊本県民天文台(熊本市南区城南町)

参加人数 56名

概 要 大接近した火星の観察、星座物語などの天体に 関する講話

講 師 艶島敬昭 氏、中島尚 氏、 高田祐一 氏(熊本県民天文台職員)

担 当 黒田治、金重雅彦



## ⑥ 半月の観察と撮影「クレーターを写そう」

開催期日 平成30年9月17日(月)

場 所 熊本県民天文台(熊本市南区城南町)

参加人数 61名

概 要 月の観察、簡易天体望遠鏡を使った月の写真撮影

講師 艶島敬昭氏、中島尚氏、 高田祐一氏(熊本県民天文台職員)

担 当 黒田治、廣田志乃



### ⑦ 地層と化石を観察しよう

開催期日 平成30年10月8日(月)

場 所 上天草市龍ヶ岳 (椚島)

参加人数 19人

講師 川路芳弘氏(熊本市立錦ヶ丘中学校)

概 要 椚島西~南海岸及び和田の鼻海岸に見られる地 質及び化石の観察を行う。

担 当 黒田治、廣田志乃



# 8 落ち葉図鑑を作ろう①

開催期日 平成30年11月18日(日)

場 所 和水町肥後民家村

参加人数 20人

概 要 和水町肥後民家村内を散策しながら樹木等を観察し、落ち葉を集めた。観察終了後、園内で、集め

た落ち葉を使って図鑑作りを行った。

担 当 金重雅彦、前田哲弥



### 9 落ち葉図鑑を作ろう②

平成30年11月25日(日)に開催予定であったが、希望者がいなかったため中止

### ① 水辺の冬鳥を観察しよう

開催期日 平成31年1月20日(日)

場 所 熊本市上江津湖

参加人数 9人

概 要 熊本市上江津湖に訪れる水辺の冬鳥を中心とした観察

担 当 天野守哉、中薗洋行



# (2) 熊本を知る講座 熊本の自然や文化について学ぶ一般向けの講座

### 1 貝類学講座

開催期日 平成30年6、8、10、12、2月の第3土曜日 午前10時~正午

会 場 熊本県博物館ネットワークセンター

受講人数 28人(計5回)

趣 旨 熊本県内に生息する貝類について、見分け方や生息環境などを学び、貝について興味・関 心を持ってもらう。

内 容 6月16日 「総論 貝類ってどんな生き物」

8月18日 「貝類の分類 I 腹足類(巻貝)」

10月20日 「貝類の分類Ⅱ 斧足類(二枚貝)」

12月15日 「貝類の分類Ⅲ 陸貝・淡水貝」

2月16日 「貝類学応用編・貝類の標本のつくり方」

講師 松本達也氏

扫 当 天野守哉、中蒝洋行

### ② 植物観察講座

開催期日 平成30年6月~平成31年2月 毎月第2十曜日

会 場 熊本県博物館ネットワークセンター、ほか県内各地

受講人数 32人(計7回)

趣 旨 植物についての基本的な観察や記録の方法の講義や実習をとおして、調査に必要となる基本的な知識や技術を習得し、身近な自然に興味や親しみをもつきっかけを提供する。

内 容 「植物の分類」「写真撮影法」「生物スケッチ」「阿蘇の植物」「種子の観察」ほか

担 当 金重雅彦、前田哲弥

### ③ 金峰山の地質

開催期日 平成30年7月~平成31年3月 奇数月第1日曜日(但し、1月は第3日曜日)

会 場 熊本県博物館ネットワークセンター、金峰山周辺

主 催 熊本博物館、熊本県博物館ネットワークセンター

受講人数 81人(計5回)

趣 旨 熊本市にある金峰山はどのような山で、どのようにしてできたのかを座学や現地調査をと おして地質学の観種から学ぶ。

講師 川路芳弘氏(熊本市立錦ヶ丘中学校)

担 当 黒田治、廣田志乃

### 4 熊本の祭り・行事・芸能

開催期日 平成30年6月~平成31年3月 毎月第2水曜日(但し、10月、1月、3月は第3水曜日)

会 場 高森総合センター

主 催 高森町教育委員会、熊本県博物館ネットワークセンター

受講人数 80人 (計10回)

趣 旨 熊本県内で季節ごとに行なわれる様々な祭りや行事について意味、内容、見所また、それ に合わせて演じられる民俗芸能などを紹介する。

内 容 第1回 6月13日 暦と祭り行事

第2回 7月11日 夏の祭りと行事

第3回 8月8日 熊本のお盆

第4回 9月12日 秋の祭りと行事1

第5回 10月17日 秋の祭りと行事2

第6回 11月14日 冬の祭りと行事

第7回 12月12日 熊本のお正月

第8回 1月16日 春の祭りと行事

第9回 2月13日 熊本の民俗芸能1 神楽

第10回 3月20日 熊本の民俗芸能2 田楽・風流

担 当 國本信夫、迫田久美子

### ⑤ 子どもたちに民具を伝える

開催期日 平成30年6月~平成31年3月 毎月第3火曜日(但し、3月は第2火曜日)

会 場 甲佐町宮内地区社会教育センター

主 催 甲佐町教育委員会、熊本県博物館ネットワークセンター

受講人数 60人 (計10回)

趣 旨 地元に残る民具の展示をつくりながら、民具について学ぶ。

内 容 第1回 6月19日 民具入門

第2回 7月18日 民具の手入れと台帳づくり1

第3回 8月21日 民具の手入れと台帳づくり2

第4回 9月18日 民具の手入れと台帳づくり3

第5回 10月16日 民具の手入れと台帳づくり4

第6回 11月20日 展示を作る1

第7回 12月18日 展示を作る2

第8回 1月15日 展示を作る3

第9回 2月19日 体験学習見学

第10回 3月12日 講座まとめ、IPMについて

担 当 國本信夫、迫田久美子

### ⑥ 古文書読み解き講座

開催期日 平成30年10月~平成31年3月 毎月第1土曜日

会 場 熊本県博物館ネットワークセンター

受講人数 40人(計4回)

趣 旨 当センターが所蔵する歴史資料(古文書)を教材として活用し、受講者が古文書に親しみ ながら基礎知識や基本的な読解力を身に付けることを目指す。

使用資料 「御教諭書商売往来」「書簡」「肥後国郡手永村名并高覚」ほか

担 当 中村幸弘、松本晃世、堤将太

### ⑦ 天草の古文書基礎講座

開催期日 平成30年7月~平成31年3月の第3金曜日(但し、8月は第4金曜日)

主 催 天草市立本渡歴史民俗資料館、熊本県博物館ネットワークセンター

会 場 天草市本渡老人福祉センター

受講人数 270人 (計10回)

题 旨 天草市立天草アーカイブズ所蔵上田家文書MF(上田家資料館原所蔵)の中から、天草崩れに関する古文書の読み下しの演習を行いながら、天草崩れの経過やその時の天草の社会 状況を学ぶことを目的とする。

使用資料「宗門心得違御吟味日記」、「今富村百姓共之内宗門心得違之者糺方日記」、

「高濱村宗門心得違之者於村方調日記」ほか

担 当 中村幸弘、堤将太

# (3) くまもとキッズミュージアム i n益城

楽しく遊びながら自然や伝統文化を体験する子ども向けプログラム

主 催 熊本県博物館ネットワークセンター、ミュージアムパートナーズクラブ

会 場 益城町情報交流センター

開催期日 平成30年11月10日(土)、11日(日)

参加者数 500人(2日間合計)

### (体験プログラム)

10日 草木染めを体験しよう(①)、音の出るおもちゃをつくろう、組紐のミサンガ作り(②)、 拓本をつくろう、化石ゴム型レプリカ作り、古生物ぬりえ、化石タッチ(③)、さまざまな鉱 物を分けてみよう、紙で鳥のモビール作り(④)、葉脈標本でしおりをつくろう、折り紙で恐 竜を誕生させよう(⑤)



11日 貝に世界に一つだけの名前をつけよう、貝がらで動物をつくろう(⑥)、組紐のミサンガ作り (⑦)、化石ゴム型レプリカ作り、古生物ぬりえ、化石タッチ、柿渋染めでコースターをつく ろう(⑧)、入浴剤をつくってみよう(⑨)、古銭レプリカをつくろう(⑩)



# (4)移動体験教室•講師派遣

### 1 移動体験教室

6月2日 田底コミュニティーセンター(草木染め 26人)

6月 9日 嘉島東小学校(貝がらクラフト 44人)

6月9日 木葉小学校(和とじノート 46人)

7月 1日 二本木8町内子ども会(貝がらクラフト 12人)

- 7月21日 小国小学校3学年PTA(草木染め 48人)
- 8月1日 松橋第2学童保育所(石臼できな粉団子 20人)
- 8月1日 滝尾学童保育たんぽぽクラブ (葉脈標本 18人)
- 8月2日 不知火学童保育所(葉脈標本 45人)
- 8月3日 子ども発達支援ステーション宇土(貝がらクラフト 10人)
- 8月4日 秋津2町内子ども会(石臼できな粉団子 25人)
- 8月7日 麦島小学校こむぎクラブ(葉脈標本 42人)
- 8月10日 きらめき事業所(古銭レプリカ 12人)
- 8月20日 豊福第一学童保育所(葉脈標本 20人)
- 8月25日 杉上小学校(葉脈標本 20人)
- 8月28日 豊福第二学童保育所(葉脈標本 27人)
- 9月16日 菊之池小学校4年2組(化石レプリカ 23人)
- 9月29日 武蔵ヶ丘小学校2年2組(貝がらクラフト 31人)
- 10月8日 泗水くらだけ友の会育成会(草木染め 30人)
- 10月13日 文徳中学校3J(石臼できな粉団子 16人)
- 10月20日 菊陽西小学校3年1組(化石レプリカ 60人)
- 10月20日 豊野小学校3年(草木染め 34人)
- 10月21日 託麻東小学校育成クラブ(葉脈標本 30人)
- 10月22日 阿蘇小学校放課後(石臼できな粉団子 46人)
- 10月27日 武蔵ヶ丘小学校2年1組(貝がらクラフト 25人)
- 10月27日 荒尾市立桜山小学校(草木染め 48人)
- 11月 3日 武蔵小学校2学年(石臼できな粉団子 80人)
- 12月15日 白川小学校6町内子ども会(化石レプリカ 36人)
- 12月15日 白川小学校6町内子ども会(葉脈標本 29人)
- 2月 9日 白山小学校10町内愛育会(貝がらクラフト 22人)
- 2月16日 龍野小学校4年生(葉脈標本 30人)
- 2月23日 長洲町中央児童館(石臼できな粉団子 30人)

### ② 講師派遣

- 5月22日 県立宇土中学校(宇土未来探究講座 80人)
- 6月 5日 県立宇土中学校(宇土未来探究講座 80人)
- 6月23日 ミュージアムキッズ i n 古墳館 (葉脈標本 150人)
- 7月27日 熊本大学講義(博物館教育論 45人)
- 10月21日 高等学校生徒理科研究発表会(審查員 130人)
- 10月31日 県立八代農業高校泉分校(森林活用授業 7人)
- 11月 4日 不知火小学校しあわせふるさと祭り(貝がらクラフト 30人)
- 11月 4日 不知火小学校しあわせふるさと祭り(石臼できな粉団子 40人)
- 11月 7日 県立松橋東支援学校(貝がらクラフト 6人)
- 12月17日 県民カレッジリレー講座(「くまもとの哺乳類」 26人)
- 1月8日 熊本さわやか大学校(暮らしの中の民俗学 36人)
- 1月22日 松橋小学校(社会科授業「昔の道具と昔のくらし」 95人)
- 1月22日 熊本大学講義(博物館経営論 52人)
- 1月23日 中央小学校(社会科授業「昔の道具と昔のくらし」 37人)
- 1月29日 励徳小学校(社会科授業「昔の道具と昔のくらし」 7人)
- 1月30日 小野部田小学校(社会科授業「昔の道具と昔のくらし」 15人)
- 1月31日 豊川小学校(社会科授業「昔の道具と昔のくらし」 39人)

- 2月 5日 上小学校(社会科授業「昔の道具と昔のくらし」 39人)
- 2月14日 美咲野小学校(社会科授業「昔の道具と昔のくらし」 134人)
- 2月28日 乙女小学校(社会科授業「昔の道具と昔のくらし」 24人)
- 3月14日 不知火小学校(社会科授業「昔の道具と昔のくらし」 60人)

# (5) 団体利用

- 5月30日 安養市視察団 (バックヤード見学 3人)
- 8月22日 熊本大学(館園見学 20人)
- 8月29日 熊本大学(館園見学 20人)
- 10月 4日 教育センター(5年経験者、初任者研修 9人)
- 10月 5日 走潟小学校(展示解説・体験学習 29人)
- 10月11日 励徳小学校(展示解説・体験学習 8人)
- 10月12日 緑川小学校(展示解説・体験学習 18人)
- 10月16日 松橋東支援学校(標本見学 9人)
- 10月18日 宇土東小学校(展示解説・体験学習 53人)
- 10月19日 有佐小学校(展示解説・体験学習 37人)
- 10月19日 砥用小学校(展示解説・体験学習 32人
- 10月21日 熊本記念植物採集会(資料見学 11人)
- 10月23日 河江小学校(展示解説・体験学習 50人)
- 2月20日 熊本大学(博物館実習授業 20人)
- 2月22日 青海小学校(3学年社会科授業 12人)
- 3月11日 豊福小学校(3学年社会科授業 80人

# (6)博物館実習・職場体験

### ① 博物館実習

期 間 平成30年9月19日~28日(十日、祝日を除く7日間)

受入学生 2人(熊本大学)

### 実習内容

- 19日(水)午前 オリエンテーション、ネットワークセンター業務説明 午後 各分野バックヤード見学及び業務説明
- 20日(木)午前 動物分野資料整理業務(整理、クリーニング、リスト作成) 午後 動物分野資料整理業務(整理、クリーニング、リスト作成)
- 21日(金)午前 動物分野資料整理業務(整理、クリーニング、リスト作成) 午後 植物分野資料整理業務(整理、クリーニング、リスト作成)
- 25日(火)午前 植物分野資料整理業務(整理、クリーニング、リスト作成)
  - 午後 植物分野資料整理業務(整理、クリーニング、リスト作成)
- 26日(水)午前 収蔵庫等の虫チェック実習
  - 午後 熊本博物館県市連携展示室見学
- 27日(木)午前 企画展示準備作業(民俗分野)
  - 午後 企画展示準備作業(民俗分野)
- 28日(金)午前 企画展示準備作業(民俗分野)
  - 午後 企画展示準備作業(民俗分野)

### ② 職場体験

期 間 平成30年9月3日~9月4日

受入生徒 県立宇士中学校 3人

実習内容学芸員の仕事とは

○ネットワークセンターの仕事について

○博物館の収蔵品について(バックヤードツアー)

○ミュージアムリテラシーを涵養するために(「ふでばこ展示会」の実施)

# (7) 熊本県博物館ネットワークセンターミュージアムパートナーズ制度

概 要 熊本県内の自然や文化に興味・関心を持ち、当センターと協動した「県民参加型の博物館活動」に主体的に携わる意志がある方を対象とした登録制度。

**登録説明会** 平成30年5月26日(日) **登録者数** 93人(平成29年度末)

# (8) 熊本県博物館ネットワークセンターミュージアムパートナーズクラブ

**活動概要** 熊本県博物館ネットワークセンターミュージアムパートナーにより組織された活動団体として 各活動クラブに分かれて活動している。博物館ネットワークセンターとの協働により熊本県内 の自然や文化の調査研究及び学習支援、情報発信等の活動を行っている。

### (活動クラブ)

### ① 草木染めの会

活動人数 12人

活動日 毎月第2土曜日

活動内容熊本の植物を使っての草木染め実践

キッズミュージアム「草木染め」の運営

### ② 雁回山の植物を観る会

活動人数 19人

活 動 日 毎月第2木曜日

活動内容 雁回山の植物相調査

標本や写真を使った企画展示の開催

### ③ くまもとの大地の成り立ち

活動人数 35人

活動日 偶数月第1日曜日

活動内容 地層や岩石の現地見学会の実施

### 4 地学研究会

活動人数 6人

活動日 毎週水・金曜日

活動内容 熊本大学、その他より寄贈された標本の整理



草木染めの会



くまもとの大地の成り立ち

### ⑤ 貝類調べ隊

活動人数 19人

活動日 毎月第2土曜日

活動内容 県内各地の陸・海・淡水の貝類を調査、観察を行う

必要に応じて採集し、名前を同定し、博物館ネットワー

クセンターへ情報提供



貝類調べ隊

### ⑥ 松橋地域史調査クラブ

活動人数 7人

活動日 毎月第1土曜日

活動内容 宇城市が所蔵している秋岡家文書の調査 (読解)

### ⑦ シダを楽しもう会

活動人数 20人

活動日 毎月第3火曜日

活動内容 熊本県内のシダ植物の分布状況調査



シダを楽しもう会

### ⑧ 交流支援クラブ

活動人数 8人

活動日 毎月第1火曜日

活動内容 会員(ミュージアムパートナー)の交流の場とするイベントの開催 ミュージアムパートナーズクラブの事務局を担当する

# (9) 学校移動展示用パッケージ作成

自然に興味関心を持ってもらうため、博物館ネットワークセンターにある実物資料を、学校の教育課程と重ね合わせ、学校現場で活用できるよう、現場の教員の意見を聞きながら作成した移動展示用パッケージを作成。

# 中学校動物「土の中の生物」

地中に生息する生きものをアクリ ル樹脂封入標本や剥製標本で紹介し たもの。



# 5 資料収集整理活動

# (1) 熊本県博物館資料データベース事業

**事業目的** 熊本県内の博物館等が所蔵する博物館資料に係るデータ管理を効率化するとともに、資料データを共有し、展示や調査研究のための利活用の促進を図る。

事業内容 収蔵資料管理システム、資料情報公開システム及びポータルサイトの運用

参加館等 18館、3市町村、資料登録件数は413,233件(平成31年3月31日現在)

U R L 熊本県総合博物館ネットワーク・ポータルサイトからアクセス http://kumamoto-museum.net/ (http://jmapps.ne.jp/kumamoto museum/)



# (2) 熊本県学芸員等人材データベース事業

事業目的 熊本県内の博物館・資料館等に所属する学芸員、県・市町村教育委員会の文化行政担当者や学校教職員等が有する専門的な知識や技術の調査を行い、その情報をもとにデータベースを作成し、博物館等における調査研究、展示及び講演会等の博物館活動の充実を図る。

事業内容 熊本県学芸員等人材データベースの作成及び関係機関への配付

熊本県学芸員等人材データベース(web版)の作成及び公開(平成27年10月)

**登録者数** 151人(平成30年3月31日現在)

U R L 熊本県学芸員等人材データベース (web版) 公開ページ



# (3) 資料収集·整理状況(平成3O年度分)

# ① 動物分野

### 資料収蔵種数

コレクション名	資料種数(概数)
立志徹郎氏寄贈貝類等標本	57,500
久川健氏寄贈昆虫標本・書籍	5,500
入江照雄氏寄贈動物標本・切手	4,000
藤田慎一氏寄贈昆虫標本・書籍	3,000
済々黌高校寄贈液浸標本	2,500
第一高校寄贈剥製・貝類標本等	2,000
甲守崇氏寄贈魚類等液浸標本	700
熊本大学教育学部寄贈剥製•液浸標本	500
熊本大学理学部寄贈剥製•液浸標本	200
宇土高校寄贈液浸・貝類標本	200
その他	7,400
	83,500

### 平成30年度の受入資料

ヤマネ

1種

ハシボソガラスの巣

1種

### 資料登録種数(平成30年度登録種数)

天们立 <u>新主然(17000)</u> 及立 <u>新主然</u>			
分類群	乾燥(剥製等)	液浸	計
NB11(哺乳類)	359	115	474
NB12(鳥類)	991	1	992
NB13(両生•爬虫類)	52	332	384
NB14(魚類)	65	2,107	2,172
NB15(昆虫類)	10,318	412	10,730
NB16(多足類)	11	861	872
NB17(甲殼類)	29	952	981
NB18(軟体動物)	4,842	245	5,087
NB19(その他分類群)	4	30	34
合計	16,671	5,055	21,726

### 平成30年度の主な整理登録作業

乾燥昆虫標本作成及び登録

熊本県立済々黌高等学校寄贈陸産貝類標本整理及び登録

熊本県立第一高等学校寄贈貝類標本整理及び登録

熊本県立宇土高等学校寄贈貝類標本整理及び登録

## ② 植物分野

資料収蔵種数 約260,000種

### 資料登録種数(平成30年度登録種数)

分類群	全登録種数	平成30年度登録種数
NB2 (植物)	205,874	7160
NB3(菌類)	2,411	16
NB4(藻類)	807	25
合計	209,092	7201

### 平成30年度受入資料

国立科学博物館カヤツリグサ科植物エキシカータ標本、甲斐数美寄贈標本、 ミュージアムパートナーズクラブ雁回山の植物を観る会

### 平成30年度の主な整理登録作業

国立科学博物館カヤツリグサ科植物エキシカータ標本、熊本大学標本、熊本大学薬学部標本、東海 大学、県立第一高校標本、県立河浦高校標本、ミュージアムパートナーズクラブ「雁回山の植物を 観る会」、山城學標本、村岡節雄標本、冨田壽人標本、荒尾宏標本の登録・配架作業

# ③ 地質分野

### 資料収蔵種数

コレクション名	資料種数(概数)
今西茂標本	1,500
長谷義隆標本	10,000
アトラス熊本標本	174
荒尾宏岩石標本	200
熊本大学理学部地学科進級論文標本	4,700
河野通幸化石標本	217
岩﨑泰穎標本	6,500
津末昭生標本	4,300
熊本大学工学部標本	10,000
熊本大学理学部地学科卒業・修士論文標本	5,300
村田正文標本	1,100
遠藤誠道植物化石標本	600
斉藤林次標本	200
早田幸作標本	200
千藤忠昌標本	1,300
植田和男標本	100
フェイス女学院 松本唯一標本	270
桂輝雄標本	100
田中均標本	8000
多良木高校標本	400
その他(少数寄贈、職員製作など)	300
合計	55,461

### 平成30年度受入資料

多良木高校標本約 400 種

ミュージアムパートナーズクラブくまもとの大地の成り立ち採取標本 20種 個人寄贈・職員採取標本 30種

### 登録種数

大分類	小分類	登録種数(概数)
岩石	堆積岩	4,633
	火成岩	5,429
	変成岩	1,588
	その他	1,665
鉱物·鉱石	元素鉱物	326
	硫化鉱物	965
	ハロゲン化鉱物	116
	酸化・水酸化鉱物	1,153
	炭酸塩・硝酸塩・ホウ酸塩鉱物	522
	硫酸塩・タングステン酸塩鉱物	334
	リン酸塩・ヒ酸塩・バナジン酸塩鉱物	195
	珪酸塩鉱物	1,535
	その他	348
植物化石	被子植物	677
	裸子植物	201
	シダ植物	49
	その他	159
動物化石	<b>脊椎動物</b>	99
	原索動物	4
	棘皮動物	111
	節足動物	59
	軟体動物	3,217
	腕足動物	108
	刺胞動物	121
動物化石	その他	75
微化石	動物	114
· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	植物	17
	その他	1
現生	動物	1,434
	植物	3
その他	その他	3
	合計	25,261

### 平成30年度の主な整理登録作業

熊本大学理学部卒業論文・修士論文標本の整理・登録

田中均標本の整理

長谷義隆標本の整理・登録

多良木高校標本の整理・登録

展示など使用標本の登録

# 4 歴史分野

# 資料収蔵種数及び登録種数

コレクション名	資料種数	登録種数
熊本市辛島家資料	23,393	2,257
鏡町下山家資料	2,977	0
渡邉祥隆寄贈資料	1	1
不知火町直江家資料	43	43
嘉島町安藤家資料	769	769
牛深市浜田家資料	422	422
齊藤俊三収集資料	1,071	0
高森町久々宮家資料	34	34
高森町瀬井家資料	541	541
西崎俊秋寄贈資料	204	0
熊本市猿渡家資料	1,021	1,021
三角千代子寄贈資料	6	0
高村勇三収集資料	1,480	0
坂口雅流収集資料	1,656	0
吉倉眞収集資料	17	17
高森町安藤家資料	622	622
森下功旧蔵資料	1,142	1,142
福田巧旧蔵資料	18	18
甲斐英子寄贈資料	18	18
田口幸宗寄贈資料	150	0
岩永武男寄贈資料	511	511
松本達也寄贈資料	64	64
西山佳代寄贈資料	6	6
東アサオ旧蔵資料	8	8
手島清士寄贈資料	1	1
八代市竹田家資料	2,206	2,206
池部美恵子寄贈資料	5	5
森内千佐寄贈資料	1	1
高須恒男寄贈資料	6	6
熊本市米村家資料	400	0
村井眞輝寄贈資料	1	1
大野恵子寄贈資料	2	2
緒方満寄贈資料	39	39
太田喜一郎寄贈資料	2	2
廣吉秀澄寄贈資料	6	6
質地証文類	300	0
宇城市坂口家資料	6	6
熊本市本田家資料	36	36
岡本敬喜寄贈資料	2	2
岩成邦忠寄贈資料	1	1
美當一調関連資料	191	191

熊本県文化課収集生産具	5	5
松原ルミ子寄贈資料	3	3
米村靖雄関係資料	31	31
井手和洋寄贈資料	2	2
熊本私立測量学校関係資料	124	0
熊本市小夏家資料	494	0
東矢力也寄贈資料	73	73
熊本市河原家資料	3	3
宇城市岡村家資料	1	1
辻あきこ寄贈資料	62	62
宇城市小田家資料	511	0
江藤政光所蔵資料	10	0
本田力寄贈資料	1	0
その他(購入等)	21	21
合計	40,720	10,200

### 平成30年度受入資料

江藤政光所蔵資料、本田力寄贈資料

### 平成30年度の主な整理登録作業

牛深市浜田家資料、東矢力也寄贈資料、辻あきこ寄贈資料の整理・登録 宇城市小田家資料のマイクロフィルム化及びデジタル化

# ⑤ 民俗分野

# 資料収蔵種数及び登録種数

大分類	小分類	資料種数	登録種数
衣食住	衣	653	225
	食	970	581
	住	401	236
生産生業	自然物採集	23	17
	農業	690	681
	山樵	132	126
	採鉱·冶金	11	10
	漁撈 製塩	152	142
	狩猟	10	10
	養蚕·畜産	186	186
	繊維	82	82
	諸職手工芸	410	385
交通交易	交通	210	151
	交易	115	73
社会	社会	49	19
信仰	神社	10	10
	寺院	47	42
	民間信仰	30	25

民俗知識	教育	141	36
	医療	47	15
	暦	9	5
	卜占	0	0
芸能娯楽	民俗芸能	0	0
	競技	0	0
	娯楽	440	57
儀礼	年中行事	56	49
	人生儀礼	40	37
	小計	4,914	3,200
	写真資料	154,400	66,092
_	合計	159,314	69,292

# 平成30年度受入資料

生活用品 約30種

# 平成30年度の主な整理登録作業

写真資料 21,273種

# 6 資料

# (1)平成30年度職員一覧

所長	松井 浩	
主幹	國本 信夫	(民俗)
参事	中原 秀隆	
参事	天野 守哉	(動物)
参事	黒田 治	(地質)
参事	金重 雅彦	(植物)
参事	中村 幸弘	(歴史)
博物館活動嘱託	迫田久美子	(民俗)
博物館活動嘱託	前田 哲弥	(植物)
博物館活動嘱託	廣田 志乃	(地質)
博物館活動嘱託	松本 晃世	(歴史)
博物館活動嘱託	中薗 洋行	(動物)
資料整理嘱託	安田 晶子	(植物)
資料整理嘱託	堤 将太	(歴史)

# (2) 熊本県博物館ネットワークセンター条例

○熊本県博物館ネットワークセンター条例

(平成27年3月20日条例第10号)

熊本県博物館ネットワークセンター条例をここに公布する。

熊本県博物館ネットワークセンター条例

(設置)

第1条 県内の他の博物館等(博物館及び学校、図書館、研究所、公民館等の教育、学術又は文化に関する機関又は団体をいう。以下同じ。)との連携の下、本県の自然、歴史等に関する情報の収集等を行い、これによって得られた資料、調査研究の成果等に関する情報を提供すること等により、県民の生涯学習の機会を増大させ、もって県民の教育、学術及び文化の発展に寄与するため、熊本県博物館ネットワークセンター(以下「ネットワークセンター」という。)を設置する。

(位置)

第2条 ネットワークセンターは、字城市に置く。

(業務)

- 第3条 ネットワークセンターは、次に掲げる業務を行うものとする。
- (1) 県内の他の博物館等との連携体制の構築に関すること。
- (2) 自然、歴史等に関する資料の収集を行うこと。
- (3) 前号に掲げる業務により収集した資料の整理保管及び調査研究を行うこと。
- (4) 前2号に掲げる業務により得られた資料、調査研究の成果等に関する情報を提供すること。
- (5) 多目的広場及び多目的広場管理棟会議室(以下「多目的広場等」という。)を提供すること。
- (6) 県内の他の博物館等の活動の支援に関すること。
- (7) 前各号に掲げるもののほか、第1条に規定する目的を達成するために必要な業務 (職員)
- 第4条 ネットワークセンターに、所長及び必要な職員を置く。

(休館日)

- 第5条 ネットワークセンターの休館日は、次に掲げるとおりとする。
- (1) 月曜日(月曜日が国民の祝日に関する法律(昭和23年法律第178号)第3条の規定により休日とされる日(以下この号において「休日」という。)に当たるときは、その日以後の休日以外の最初の日)
- (2) 12月29日から翌年1月3日まで(前号に該当する日を除く。)
- 2 前項の規定にかかわらず、知事が特に必要があると認めるときは、同項の休館日を変更し、又は別に休館日を定めることができる。

(開館時間)

- 第6条 ネットワークセンターの開館時間は、午前9時から午後5時までとする。
- 2 前項の規定にかかわらず、知事が特に必要があると認めるときは、同項の開館時間を変更することができる。

(使用の許可)

- 第7条 多目的広場等を独占して使用しようとする者は、知事の許可を受けなければならない。
- 2 知事は、前項の許可をする場合において、管理上必要な条件を付することができる。

(使用の許可の基準)

- 第8条 知事は、前条第1項の許可を受けようとする者が次の各号のいずれかに該当するときは、同項の許可 をしないことができる。
- (1) ネットワークセンターにおける公の秩序又は善良な風俗を乱すおそれがあると認められるとき。

- (2) ネットワークセンターの施設又は設備を毀損し、又は減失するおそれがあると認められるとき。
- (3) その使用が暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律(平成3年法律第77号)第2条第2号に規定する暴力団を利するおそれがあると認められるとき。
- (4) その他使用させることがネットワークセンターの管理上支障があると認められるとき。 (許可の取消し等)
- 第9条 知事は、第7条第1項の許可を受けた者(次条第1項において「使用者」という。)が次の各号のいずれかに該当するとき、又は管理上支障があると認めるときは、第7条第1項の許可を取り消し、若しくは変更し、又は多目的広場等の使用を停止させることができる。
- (1) この条例又はこの条例に基づく規則に違反したとき。
- (2) 第7条第2項の規定により付された許可の条件に違反したとき。
- (3) 偽りその他不正の手段により許可を受けたとき。
- (4) 前条第3号に該当することとなったとき。

(使用料)

- 第10条 使用者は、別表に定める額を使用料として納めなければならない。
- 2 前項の使用料(以下「使用料」という。)は、前納とする。ただし、知事が特別の事情があると認めるときは、この限りでない。
- 3 既納の使用料は、還付しない。ただし、知事が特別の事情があると認めるときは、その全部又は一部を還付することができる。

(使用料の減免)

- 第11条 知事は、特別の事情があると認めるときは、使用料の全部又は一部を免除することができる。(指定管理者による管理)
- 第12条 ネットワークセンター(多目的広場等に限る。以下この条から第15条までにおいて同じ。)の管理 は、地方自治法(昭和22年法律第67号)第244条の2第3項の規定により法人その他の団体であって知事が 指定するもの(以下「指定管理者」という。)に行わせることができる。
- 2 前項の規定によりネットワークセンターの管理を指定管理者に行わせる場合は、第5条及び第6条の規定に かかわらず、当該指定管理者は、必要があると認めるときは、あらかじめ知事の承認を得て、ネットワー クセンターの休館日を変更し、若しくは別に定め、又は開館時間を変更することができる。
- 3 第1項の規定によりネットワークセンターの管理を指定管理者に行わせる場合における第7条から9条まで の規定の適用については、これらの規定中「知事」とあるのは、「指定管理者」とする。
- 4 第1項の規定によりネットワークセンターの管理を指定管理者に行わせる場合において、当該指定管理者 がネットワークセンターの管理を行うこととされた期間前にされた第7条第1項(前項の規定により読み替 えて適用する場合を含む。)の許可の申請は、当該指定管理者にされた許可の申請とみなす。
- 5 第1項の規定によりネットワークセンターの管理を指定管理者に行わせる場合において、当該指定管理者 がネットワークセンターの管理を行うこととされた期間前に第7条第1項(第3項の規定により読み替えて 適用する場合を含む。)の許可を受けている者は、当該指定管理者の許可を受けた者とみなす。
- 第13条 指定管理者は、次に掲げる業務を行うものとする。
- (1) 第3条第5号に掲げる業務
- (2) 第7条第1項の許可に関する業務
- (3) ネットワークセンターの維持管理及び修繕に関する業務
- (4) 前3号に掲げるもののほか、指定管理者がネットワークセンターの管理上必要と認める業務

### (利用料金)

- 第14条 第10条第1項の規定にかかわらず、第12条第1項の規定によりネットワークセンターの管理を指定管理者に行わせる場合には、前条各号に掲げる業務のほか、当該指定管理者にネットワークセンターの利用に係る料金(以下「利用料金」という。)を収受させることができる。
- 2 利用料金の額は、別表に定める額に1.3を乗じて得た額を上限として、指定管理者が知事の承認を得て定める額とする。
- 3 指定管理者は、あらかじめ知事の承認を得て定めた基準により、利用料金の減免又は還付をすることができる。

### (原状回復義務)

第15条 指定管理者は、その指定の期間が満了したとき、又は地方自治法第244条の2第11項の規定によりその指定を取り消され、若しくは期間を定めてネットワークセンターの管理の業務の全部若しくは一部の停止を命ぜられたときは、その管理しなくなったネットワークセンターの施設及び設備を速やかに原状に回復しなければならない。ただし、知事の承認を得たときは、この限りでない。

### (損害賠償)

第16条 故意又は過失によりネットワークセンターの施設又は設備を毀損し、又は滅失した者は、これによって生じた損害を賠償しなければならない。ただし、知事が特別の事情があると認めるときは、損害賠償 義務の全部又は一部を免除することができる。

### (雑則)

第17条 この条例に定めるもののほか、この条例の施行に関し必要な事項は、規則で定める。

### (罰則)

第18条 詐欺その他不正の行為により使用料の徴収を免れた者は、その徴収を免れた金額の5倍に相当する金額(当該5倍に相当する金額が5万円を超えないときは、5万円とする。)以下の過料に処する。

### 附則

この条例は、平成27年4月1日から施行する。ただし、第3条第5号、第7条から第15条まで、第18条及 び 別表の規定は、平成27年10月1日から施行する。

### 別表(第10条、第14条関係)

W1240142 SI42 SI42 SI42 ADIV			
区分		単位	金額
多目的広場	東面	1時間につき	700円
	西面	1時間につき	800円
多目的広場管理	棟会議室	1時間につき	100円

備考 使用する時間に1時間未満の端数があるときは、その端数を1時間とみなす。

# (3) 施設平面図

敷地概要 所在 宇城市松橋町豊福1695

面 積 61,917.40㎡

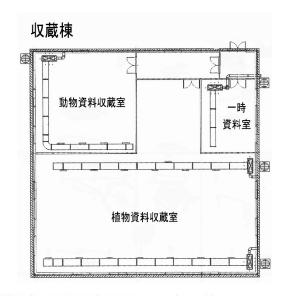
建物概要 本館構 造 RC造2階建

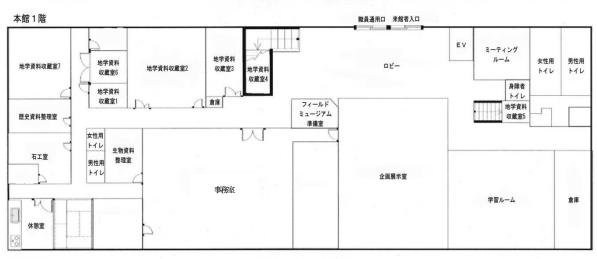
建築面積 1643.30㎡

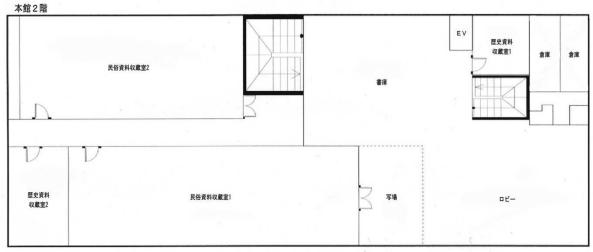
延床面積 2889.27m²

収蔵棟 構 造 RC 造平屋建

建築面積 493.63㎡ 延床面積 480.26㎡







# (4) 熊本県博物館ネットワークセンターへのアクセス



開館時間 午前9時~午後5時

休 館 日 月曜日(祝日の場合は翌日)、年末年始(12月29日~1月3日)

交通案内 九州産交バス「希望の里入口」下車 徒歩3分

JR 松橋駅より約3km

U R L http://kumamoto-museum.net/kmnc/ E-mail hakubutsuse@pref.kumamoto.lg.jp

平成30年度 熊本県博物館ネットワークセンター活動報告書

編集・発行 熊本県博物館ネットワークセンター

〒869-0524 熊本県宇城市松橋町豊福1695

電話(0964)34-3301

発 行 日 令和元年(2019年)9月27日